

# 公孫樹 (いちょう) 9月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

## 充実の2学期へ

自分がしないで、誰がする

自分がしないで、誰かする

上の2つの言葉を比べてみてください。

「自分がしないで、誰がする」は、「私がしなかったら、誰もやらなくて困ってしまうかもしれない。だから、自分で進んでしよう」という積極的な言葉です。

ところが、「が」の濁点をとるとどうでしょう。「自分がしないで、誰かする」となります。「私は、自分からはしないよ。どうせ誰かがしてくれるからね。」という消極的な言葉に代わってしまいます。

今日から長い2学期が始まります。「自分がしないで、誰かする。」ではなく、「自分がしないで、誰がする」。2学期は、そんな自分から何でも実行できる人を目指してがんばっていきましょう。

## いじめについて

### ～始業式翌日にこの世を去った女子生徒の遺書より～

この夏は、中学生にかかわる大変悲惨な事件・事故が複数起こりました。青森市では、中学2年の女子生徒が2学期の始業式翌日の8月25日にJR奥羽線に飛び込み自殺しました。父親は女子生徒の遺書を公開しました。下はスマホの中に残っていた遺書の一部です。

#### 遺書

突然でごめんなさい。ストレスでもう生きていけそうにないです。●が弱いのは自分自身でも分かってるし、●が悪い所もあったのは知ってるけど、流石にもう耐えられません。東京行って全国でまた皆で優勝したかったけど、行けなくてごめんなさい。だから7人で、優勝してください。●も頑張っってね。

学校生活も散々だし、それでストレスたまって起立性になったのに、仮病とかいう人が沢山いて、説明しても、あまり信じてくれなかった。

1、2年の時で●の噂流したりそれを信じたりいじめてきたやつら、自分でわかると思います。もう、二度といじめたりしないでください。(中略)

家族へ。先立つ不幸を許してください。もう無理です。(中略)

文章めちゃくちゃでごめんなさい。みんなに迷惑かけるし、悲しむ人も居ないかもしれないくらい生きる価値本当にないし、綺麗な死に方すらできないけど、楽しい時もありました。本当に13年間ありがとうございました。

中学生が、電車で飛び込み自ら死を選ぶ行為は尋常なことではありません。自殺した中学生の心を理解することは難しいことです。でも、相手の気持ちを想像することはできると思います。皆さんも、自殺にまで追い込まれた中学生の気持ちを想像することはできると思います。

行中学生の中に、もし、心が折れそうになり、どうしてもならない不安を抱えている人がいるとしたら、どうか、誰かに助けを求めてください。先生でも、ご両親でも、友達でも誰でもいいです。声を上げてください。決して自分の命を絶ってはいけません。周りの人も異変に気付いたら、ぜひとも我々に話してください。



## 行中生 夏の活躍

行中学生はこの夏に様々な場面で活躍してくれました。その一端をご紹介します。また、8月20日の「親子除草」では雨の降る中、多くの皆様にご協力をいただきました。あらためましてお礼申し上げます。



市内大会優勝バレー部



県大会団体ベスト8 テニス部



県大会出場 卓球部



佐間天神社八坂祭



浮き城まつり～準大賞～



学童保育訪問(保健委員会)



小学校サマースクール



雨の中の親子除草



NHK全国音楽コンクール埼玉県コンクール